

生駒市が提案している小中一貫校

小学校は6年間・中学校は3年間

全国には4・3・2制、5・2・2制など様々な小中一貫校の形態がありますが、生駒市は6・3制の小中一貫校を設置します。また小学校卒業式、中学校入学式も従来どおり行います。

〇〇小中学校や〇〇学園という通称名を付ける場合もありますが、小学校は生駒北小学校、中学校は生駒北中学校に変わりありません。

小学校6年生が小学校の最高学年として活動する機会はなくなりません。

教育課程は変更しません

教育課程特例校の申請をして、小学校1年生の英会話など標準の教育課程にない特別な教科を設置している小中一貫校がありますが、生駒市の小中一貫校では標準の教育課程による授業を行います。途中転入があったり、普賢寺小学校の子ども達が中学校1年生から入学したりしても、不利益はありません。

小中学校の校長を1人とし、教諭を1名増やします

小中一貫校にすることで、校長を1人とし、実際に児童生徒の指導にあたる教員を1名増やします。

授業の準備をする時間が十分でない、不在時の補充教員がないなど、小規模小学校の課題を解決することで、指導を充実させ、教員の負担を軽減します。



9学年の幅広い異学年交流の中で子ども達が育ちます



全国の小中一貫校では、いっしょに掃除をしたり、合同で運動会などの学校行事をしたり、小学校5年生から部活動に参加したりと、小学生と中学生がいっしょに活動する機会を作る工夫をしています。



日頃から中学生は小学生の模範として行動することが求められます。

小中学校教員の協働で学習指導・生徒指導に取り組みます

中学校の音楽や美術、英語等の教員が小学生を指導することができます。

中学生になっても小学生のときから知っている教員がいて、生徒指導が充実し、生徒の安心感も高まります。不登校や問題行動が減った事例が多数報告されています。



生駒北小中一貫校 Q & A

Q 1 : なぜ、生駒北小学校、生駒北中学校で実施するのですか。

A 1 : 小学校と中学校を統合しても大規模にならないなど、施設一体型の小中一貫校を設置するにあたりもっとも適していると考えたからです。

Q 2 : 授業の形態や行事は変わるのですか。

A 2 : 授業や行事は、今までどおり行います。効果があると見込まれる場合は、中学校の教員が小学生を指導したり、小中学校が合同で行事を実施したりします。

Q 3 : 他の市町村や県でも実施されているのですか。その状況はどうですか。

A 3 : 全国的に小中一貫校が増えています。文部科学省は、不登校児童生徒の減少、学力向上、規範意識の向上など、小中一貫校を設置しているほぼすべての市町村で効果が認められているとしています（中央教育審議会報告）。

Q 4 : 中学校に進学したという気分にならないのでは。小学校で人間関係において課題を抱えた子にとってはかえってマイナスではないですか。

A 4 : 進学したという気持ちの変化は小さいかもしれませんが、教育活動に意図的な段差を設けることで、同様の効果をあげることができます。一方、小学校で課題のあった子が中学校に行ってもその状況を知っている先生がいることで不安が軽減され、より適切な指導ができます。

Q 5 : 校時表はどうしますか。45分授業と50分授業の違いなど、問題点はたくさんあるのではないですか。

A 5 : 全国の小中一貫校では、1単位時間を弾力的に設定したり、チャイムの鳴らし方を工夫したりしています。また、多様な課題も学校の長所に変えていけるように努力しています。

Q 6 : 教員の持ち時間数が増え、今以上の負担増になりませんか。

A 6 : 小中の先生が協働して授業を行えば持ち時間数は増えます。しかし、教員定数が少ない生駒北小学校・中学校では、小中の先生が相互に補うことにより、教科指導や部活動の指導で、負担が緩和されるようになります。

Q 7 : 運動会を小中合同で行うのは発達段階を考えると難しいのではないですか。その他の行事についてはどうですか。

A 7 : 運動会は全国的にも小規模な小中一貫校では合同で行っている場合が多くあります。その他も効果が見込まれる行事は合同で実施するべきと考えます。

Q 8 : 施設・設備面で今より不便になりませんか。小中で共用となるのですか。

A 8 : 特別教室や多目的室など、使用状況を考えてより使いやすい設備にしていけます。多様な意見を反映した施設にして、先生方や子どもたちがより手応えを感じ、地域の皆様にも喜ばれる教育環境にしたいと考えています。